

## ユニロンシート ハード・成分表、安全シート

### ① 化学品及び会社情報

製品名 : ユニロンシート ハード  
 会社名 : 柳瀬株式会社  
 住所 : 兵庫県丹波市山南町谷川 1 3 8 5  
 担当者名 : 品質管理課  
 電話番号 : 0795-77-2151  
 FAX番号 : 0795-77-2535  
 緊急連絡先 : 所在地に同じ  
 整理番号 : MSDS-Z233

### ② 組成及び成分情報

単一・混合物の区別 : 混合物  
 一般名 : 不織布研磨材  
 含有成分

成 分		官報公示整理番号	C A S 番号
構成名	成分名		
基材 (不織布)	化学合成繊維 (ナイロン)	-	-
研磨材	酸化アルミニウム (A 1 2 0 3)	1-23	1344-28-1
接着剤	合成樹脂接着剤	-	-
着色剤	酸化鉄 ( F e 2 0 3 )	1-357	1309-37-1

### ③ 危険有害性の要約

GHS 分類  
 物理化学的危険性 : 分類基準には該当しないが、可燃物であるため着火源があれば燃える。  
 健康に対する有害性 : 記述すべき有害性はない。  
 環境に対する有害性 : 記述すべき環境影響はないが、生分解性は有していない。  
 ラベル要素  
 絵表示またはシンボル : なし  
 注意喚起語 : なし  
 危険有害性情報 : なし  
 注意書き : なし

#### ④ 応急措置(特に研磨された粉塵による)

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	清浄な水で充分洗浄した後、必要に応じ医師の手当てを受けること。
目に入った場合	こすると刺激があったり角膜を傷つけたりするのでこすらずに清浄な水で数分間注意深く洗うこと。 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	速やかに口をすすぎ、できるだけ吐かせ医師の診断を受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	吸入:咳 眼:発赤
医師に対する特別注意事項	情報なし

#### ⑤ 火災時の措置

消火剤	水、泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤	情報なし
特有の危険有害性	燃焼または熱分解時に刺激性の強いガスが発生する恐れがある。一酸化炭素、シアンガス、アンモニア等が発生する恐れがある。
特有の消火方法	火元への燃焼源を絶ち、消火剤を用いて風上から消火する。 危険でなければ火災区域から製品を移動する。 製品の移動が不可能な場合は製品及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器を含め、適切な化学用保護衣を着用する。

#### ⑥ 漏出時の処置

人体に対する注意事項	特に記述すべき事項はない。
環境に対する注意事項	特に記述すべき事項はない。

#### ⑦ 取扱い及び保管上の注意取り扱い

取り扱い	
火災、爆発の防止	火や熱源のそば、高温になる場所に放置しない。
局所排気装置及び全体換気	研磨粉塵による粉塵爆発、研磨火花による火災が発生することがあるため適切な集塵、集塵装置の清掃、防火装置の設置が必要である。 研磨粉塵を吸い込まないように、換気設備のあるところで作業する。
保管	
技術的対策	直射日光を避け、常温常湿の屋内で保管する。

#### ⑧ ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない。
許容濃度	設定されていない。
設備対策	適切な集塵装置や換気装置を設け粉塵などの発生を避け、定期的に清掃、整備を行う。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスク等、適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	適切な保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣、安全靴等の保護具を着用する。

## ⑨ 物理的及び化学的性質

外観など	不織布に研磨材を塗布
色	こげ茶色
引火点	なし
発火点	なし
可燃性	あり

## ⑩ 安定性及び反応性

安全性	予想される通常の取り扱い及び保管では安定であり反応性はない。
危険有害反応性可能生	ほとんどなし
避けるべき条件	研磨粉塵の発生、拡散。

## ⑪ 有害性情報

急性毒性	知見なし
皮膚腐食性	知見なし
刺激性(皮膚、目)	知見なし
感作性(呼吸器、皮膚)	知見なし
慢性毒性・長期毒性	知見なし
がん原性	知見なし
変異原性・催奇形性	知見なし
生殖毒性	知見なし

## ⑫ 環境影響情報

分解性	知見なし
生体毒性	知見なし
生体蓄積性	知見なし
その他の情報	生分解性を有していないため長期残留すると考えられる。 環境中には廃棄しない。

## ⑬ 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)並びに条例により処理すること。産業廃棄物処理業者に委託、または 地方公共団体が処理を引き受けている場合は地方共用団体に委託すること。
包装材料	残余廃棄物とおなじ。

## ⑭ 輸送上の注意

国際規制	該当しない
国内規制	該当しない
注意事項	直射日光や風雨にさらされないようにする。 乱暴な取扱いは避ける。

## ⑮ 適用法令

廃掃法	産業廃棄物
-----	-------

## ⑯ その他情報

参考文献

記載内容の取り扱い

化学物質管理者研修資料集(中央労働災害防止協会)

ポリマーの難燃化(西沢仁著豚大成社)

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、注意事項は通常の手続きを対象としたものであり、特別の手続きを行う場合は用途や用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。

記載内容は情報提供でありまして個々の用途一、の本製品および本記載内容の適合性を保証するものではありません。